



2023年5月8日

各位

会社名:フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(コード:8462 東証スタンダード市場)
代表者名:代表取締役 金 武 偉
問合せ先:財務経理部長 西田 賢一郎
(TEL:075-257-2511)

投資有価証券評価損の計上及び法人税等調整額(益)の計上 並びに前年同期の実績値(連結)との差異に関するお知らせ

2023年3月期(自2022年4月1日至2023年3月31日)において、保有する投資有価証券評価損を計上しましたのでお知らせいたします。また、法人税等調整額(益)を計上しましたのでお知らせいたします。さらに、業績(連結)につきまして、前年実績値との間に差異が生じたので、合わせて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の内容

当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、回復の見込みがあると認められないものについて、2023年3月期において、有価証券評価損として50百万円を特別損失に計上いたしました。なお、当該有価証券は純投資目的でなく、事業機会の創出や取引、協業関係の構築、拡大を目的に保有している株式です。

2. 法人税等調整額(益)の内容

当社は、2023年4月10日付で開示しましたとおり、保有する株式会社デジアラホールディングスの株式の全部を譲渡いたしました。これにより、現時点の将来課税所得を見積り繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2023年3月期において繰延税金資産を計上することとし、これにより法人税等調整額△618百万円(△は益)を計上いたしました。

3. 2023年3月期の業績と前年同期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期(2022年3月期)実績 (A)	546	64	165	143	16 15
当期(2023年3月期)実績 (B)	565	51	218	1,040	116 91
増減額 (B-A)	18	△12	53	896	—
増減率	3.4%	△19.7%	32.5%	623.7%	—



4. 差異が生じた理由

当連結会計年度において、新規ファンドの設立や既存ファンドからの追加出資などファンドから受領する管理報酬を中心とした安定的収入は増加したこと等により、売上高は 565 百万円（前連結会計年度 546 百万円）と増収となりましたが、定時株主総会対応費用による販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業利益は 51 百万円（同 64 百万円）と若干の減益になりました。一方、持分法による投資利益の増加や関係会社株式売却益を計上したこと、法人税等調整額（益）を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,040 百万円（同 143 百万円）と増益となりました。

なお、持分法による投資利益として 169 百万円を営業外収益に計上しております。これは当社持分法適用関連会社であった株式会社デジアラホールディングスに係るものであります。

また、関係会社株式売却益として 275 百万円を特別利益に計上しております。これは株式会社デジアラホールディングスの持分を一部売却（2022年6月6日実施）したものであります。

さらに、株式会社デジアラホールディングスの取締役によるストックオプション（新株予約権）の行使により、当社の株式保有割合が低下したことから、同社は 2023年3月31日付で持分法適用関連会社から除外となりました。これにより持分変動損失として 6 百万円を特別損失に計上しております。

以上